

旅券発給の概要

平成元年1月～12月

大分県福祉生活部県民生活課

は　じ　め　に

旅券（パスポート）は、海外に旅行し滞在する方にとってたいへん重要な公文書であります。

近年、海外旅行者は急増しており、これに伴い旅券の発給件数も年々増えております。平成元年の一般旅券の発給件数は、全国で4,241,783件（対前年比8.2%増）、大分県では26,171件（対前年比3.0%増）でした。

この冊子は、旅券の意義、種類など旅券についての概要を記すとともに大分県における平成元年を中心とした旅券の取扱い状況を取りまとめたものであります。

この冊子に目を通していただいて、旅券に対する理解を一層深めていただければ幸いです。

平成2年3月

大分県福祉生活部県民生活課長

守　田　隆　至

目 次

旅券の概要	1
1. 旅券の意義	1
2. 旅券の種類	1
3. 旅券の効力	1
旅券発給の概要	2
1. 概 況	2
2. 主な特徴	2
平成元年旅券発給統計	3
1. 年次別発給件数	3
2. 海外渡航者数	5
3. 月別発給件数	7
4. 効力別発給件数	9
5. 目的別発給件数	9
6. 性別発給件数	11
7. 年代別発給件数	11
8. 職業別発給件数	15
9. 居住地別発給件数	17
10. 渡航先別発給件数	20
11. 日田窓口利用状況	24
12. 都道府県別発給件数	25
旅 券 年 表	27

旅 券 の 概 要

1. 旅券の意義

旅券は、日本国政府が外国政府に対して、その所持人が日本国民であることを証明し、あわせてその人が安全に旅行および滞在ができるよう保護と扶助を与えることを要請する公文書です。

諸外国の官憲は、旅券を点検することによって、その所持人の国籍をはじめ身元を確認し、自国内への入国・滞在等を認め、また、必要な場合には保護や扶助を与えることになっていますから、旅券は海外に旅行し、滞在する方にとって欠くことのできない非常に重要な文書です。

2. 旅券の種類

旅券には、一般旅券と公用旅券の2種類があります。「公用旅券」は、国の用務のため外国に渡航する方及びその同伴者等に対して発給され、「一般旅券」はそれ以外の方に対して発給されます。

公用旅券は国（外務省）が直接取扱っており、都道府県においては一般旅券を取扱っています。

この冊子では、大分県における一般旅券の取扱状況を中心に述べます。

3. 旅券の効力

旅券は、効力の点から一往復用旅券（一回旅券）と数次往復用旅券（数次旅券）とに分けられます。

一回旅券は、旅券に記載された国（地域）への渡航について、一度出国してから日本へ帰るまでの間有効です。

数次旅券は、現在、北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）を除くすべての国（地域）に、その有効期間中であれば何回でも往復渡航できるようになっており、旅券発行の日から5年間有効です。

ただし、この度の旅券法改正により平成2年4月1日申請分から数次往復用旅券のみとなり、北朝鮮へ渡航する場合に限り一往復用旅券が発給されるようになります。

旅券発給の概要

1. 概況

大分県における平成元年の一般旅券発給件数は26,171件(対前年比3%増)でした。

元年は中国の天安門事件やフィリピンのクーデター未遂事件、サンフランシスコ湾岸地震、オーストラリア国内航空のストライキなどが起こり、海外旅行全般にマイナス要因が考えられましたが、それでも、わずかながら増えました。これは海外旅行が国際化社会の進展の中で、今までの円高傾向を背景に日常生活に定着してきたものとみていいと思われます。

今後とも微増ながら旅券の発給件数は増え続けることが予想されます。

2. 主な特徴

効力別では、一回旅券が6,357件(24.3%)、数次旅券が19,814件(75.7%)でここ4～5年約3：7の割合でしたが、少しづつ2：8の割合へと移行しています。

年齢別では20歳代が最も多く7,919件で全体の30.3%を占めており、次いで30歳代(17.9%)、40歳代(15.7%)、50歳代(13.3%)の順で、20歳代、30歳代で約5割を占めています。

性別では、男性14,871件(56.8%)、女性が11,300件(43.2%)でここ数年伸び続けた女性の割合は、63年・元年とやや減少しています。

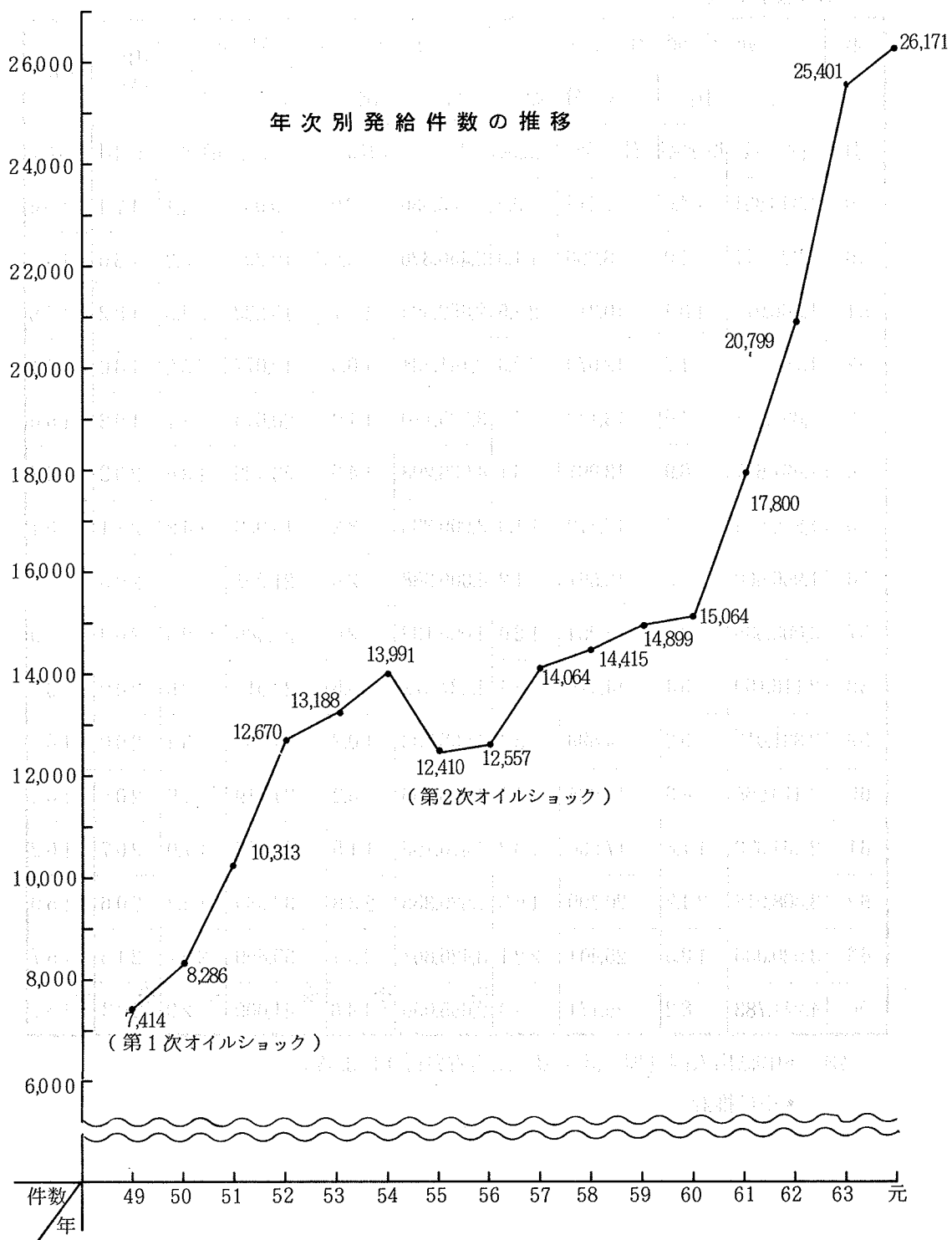
渡航目的別では、「観光、訪問、その他」の個人的目的が圧倒的に多く25,089件で全体の95.9%を占めています。

渡航先の主要渡航先国別でみると、ハワイ、グァムを含む米国が7,357件(28.1%)で1位、次いで韓国6,488件(24.8%)、台湾3,152件(12.0%)、香港2,724件(10.4%)、シンガポール1,658件(6.3%)と続いています。又、中国は6月の天安門事件後の渡航自粛の影響が極端に件数が減少しました。

平成元年旅券発給統計

1. 年次別発給件数

年 別	大 分 県		全 国	
	件 数	増 減 (%)	件 数	増 減 (%)
昭和45年	1,704	46.6	655,732	35.6
46	3,901	129.0	868,565	32.5
47	4,796	22.9	1,088,697	25.3
48	8,202	71.0	1,558,931	43.0
49	7,414	-9.6	1,343,831	-14.0
50	8,286	11.8	1,323,717	-1.0
51	10,313	24.5	1,566,912	18.4
52	12,670	22.9	1,750,170	11.7
53	13,188	4.1	1,834,211	4.8
54	13,991	6.1	1,997,627	8.9
55	12,410	-11.3	1,848,824	-7.4
56	12,557	1.2	1,950,560	5.5
57	14,064	12.0	2,008,335	3.0
58	14,415	2.5	2,116,169	5.4
59	14,899	3.4	2,311,019	9.2
60	15,064	1.1	2,410,965	4.3
61	17,800	18.2	2,664,673	11.6
62	20,799	16.8	3,308,918	24.2
63	25,401	22.1	3,920,036	18.5
平成元年	26,171	3.0	4,241,783	8.2

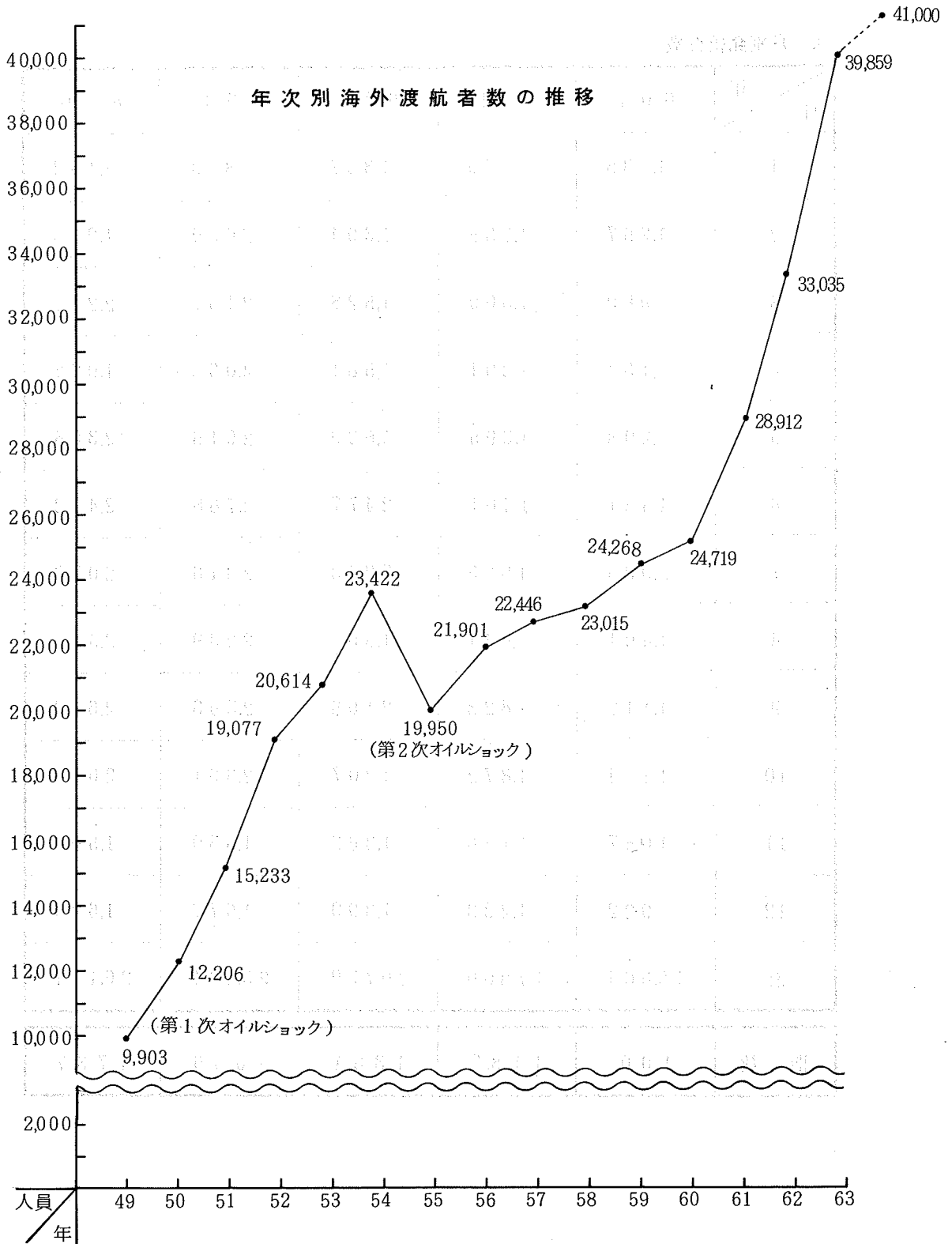


2. 海外渡航者数

年 別	旅券発給数(A)				海外渡航者数(B)				$\frac{(B)}{(A)} \times 100(\%)$	
	全 国		大 分 県		全 国		大 分 県			
	件 数	増加率	件 数	増加率	人 員	増加率	人 員	増加率	全 国	大分県
49	1,343,831	-14.0	7,414	- 9.6	2,335,530	2.0	9,903	4.1	174	134
50	1,323,717	- 1.0	8,286	11.8	2,466,326	5.6	12,206	23.3	186	147
51	1,566,912	18.4	10,313	24.5	2,852,584	15.7	15,233	24.8	182	148
52	1,750,170	11.7	12,670	22.9	3,151,431	10.5	19,077	25.2	180	151
53	1,834,211	4.6	13,188	4.1	3,525,110	11.9	20,614	8.1	192	156
54	1,997,627	8.9	13,991	6.1	4,038,298	14.6	23,422	13.6	202	167
55	1,848,824	- 7.4	12,410	-11.3	3,909,333	- 3.2	19,950	-14.8	211	161
56	1,950,560	5.5	12,557	1.2	4,006,388	2.5	21,901	9.8	205	174
57	2,008,335	3.0	14,064	12.0	4,086,138	2.0	22,446	2.5	203	159
58	2,116,169	5.4	14,415	2.5	4,227,672	3.5	23,015	2.5	200	160
59	2,331,019	9.2	14,899	3.4	4,658,833	10.2	24,268	5.4	200	163
60	2,410,965	4.3	15,064	1.1	4,948,366	6.2	24,719	1.9	205	164
61	2,664,673	11.6	17,800	18.2	5,516,193	11.5	28,912	17.0	207	162
62	3,308,918	24.2	20,799	16.8	6,829,338	23.8	33,035	14.3	206	159
63	3,920,036	18.5	25,401	22.1	8,426,867	23.4	39,859	20.7	215	157
元	4,241,783	8.2	26,171	3.0	※9,655,000	※14.6	※41,000	※2.9	※228	※157

(注) ●(B)は出入国管理統計年報(法務省発行)による。

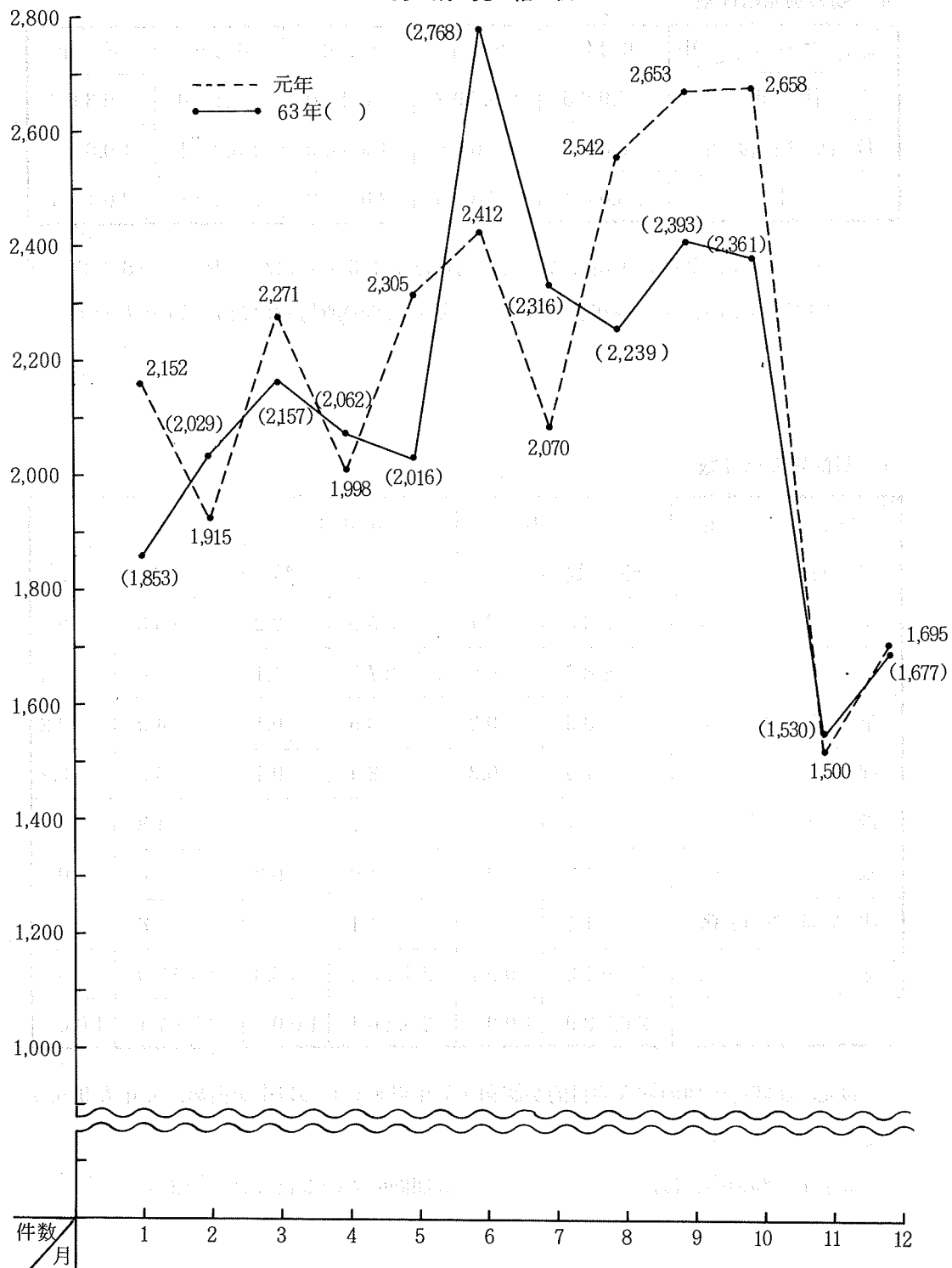
●※は推計。



3. 月別発給件数

年 月	60年	61年	62年	63年	元年
1	1,238	1,176	1,327	1,853	2,152
2	1,257	1,355	1,394	2,029	1,915
3	980	1,309	1,528	2,157	2,271
4	1,134	1,291	1,581	2,062	1,998
5	1,208	1,395	1,639	2,016	2,305
6	1,451	1,401	2,477	2,768	2,412
7	2,033	1,963	2,253	2,316	2,070
8	1,491	1,841	1,867	2,239	2,542
9	1,119	1,828	2,165	2,393	2,653
10	1,174	1,872	1,807	2,361	2,658
11	1,057	1,146	1,362	1,530	1,500
12	922	1,223	1,399	1,677	1,695
計	15,064	17,800	20,799	25,401	26,171
指 数	100	118.2	138.1	168.6	173.7

月別発給状況



4. 効力別発給件数

効力 \ 年	60年	61年	62年	63年	元年
一往復用	4,986	5,792	6,250	7,110	6,357
数次往復用	10,078	12,008	14,549	18,291	19,814
計	15,064	17,800	20,799	25,401	26,171

この4～5年、数次往復用旅券取得の割合は7：3でしたが、少しずつ8：2の割合へと移行しています。現在有効な数次往復用旅券の所持者は約74,700人です。

5. 目的別発給件数

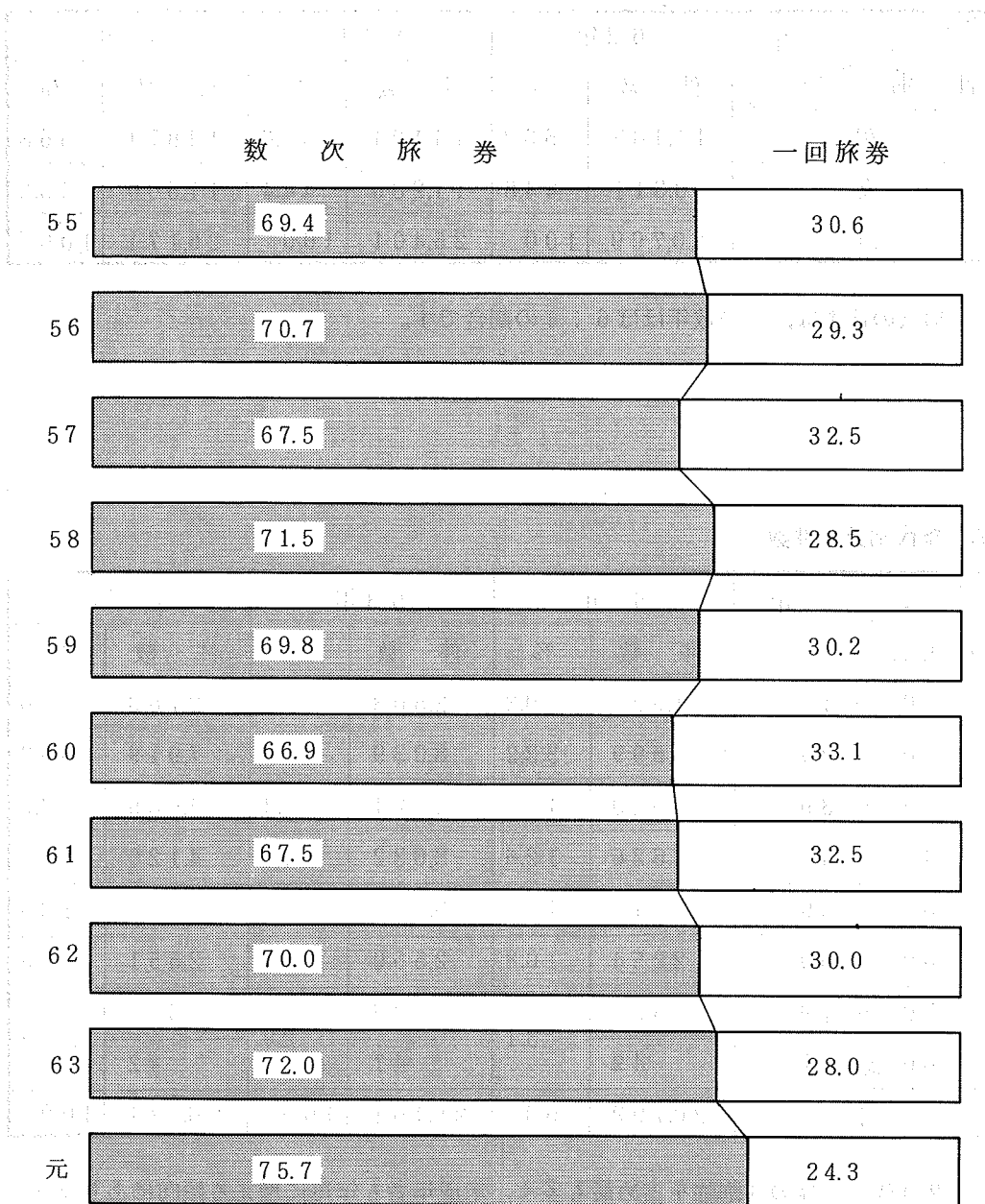
目的 \ 年	62年		63年		元年	
	件数	%	件数	%	件数	%
業務	568	2.7	559	2.2	553	2.1
留学	182	0.9	272	1.1	380	1.4
学術研究	33	0.2	35	0.1	49	0.2
同居	70	0.3	34	0.1	58	0.2
役務提供	11	0.2	22	0.2	18	0.2
永住	12		10		16	
法人海外勤務	11		11		8	
観光	19,912	95.7	24,458	96.3	25,089	95.9
計	20,799	100	25,401	100	26,171	100

観光、訪問その他の個人的目的が昭和47年以来90%以上を占め、元年も95.9%となっています。

留学1.4%の中には、ホームステイ等の短期間のものも含まれています。

効力別発給割合の推移

平成25年度



6. 性別発給件数

性別	62年		63年		元年	
	件数	%	件数	%	件数	%
男	11,488	55.2	14,121	55.6	14,871	56.8
女	9,311	44.8	11,280	44.4	11,300	43.2
計	20,799	100	25,401	100	26,171	100

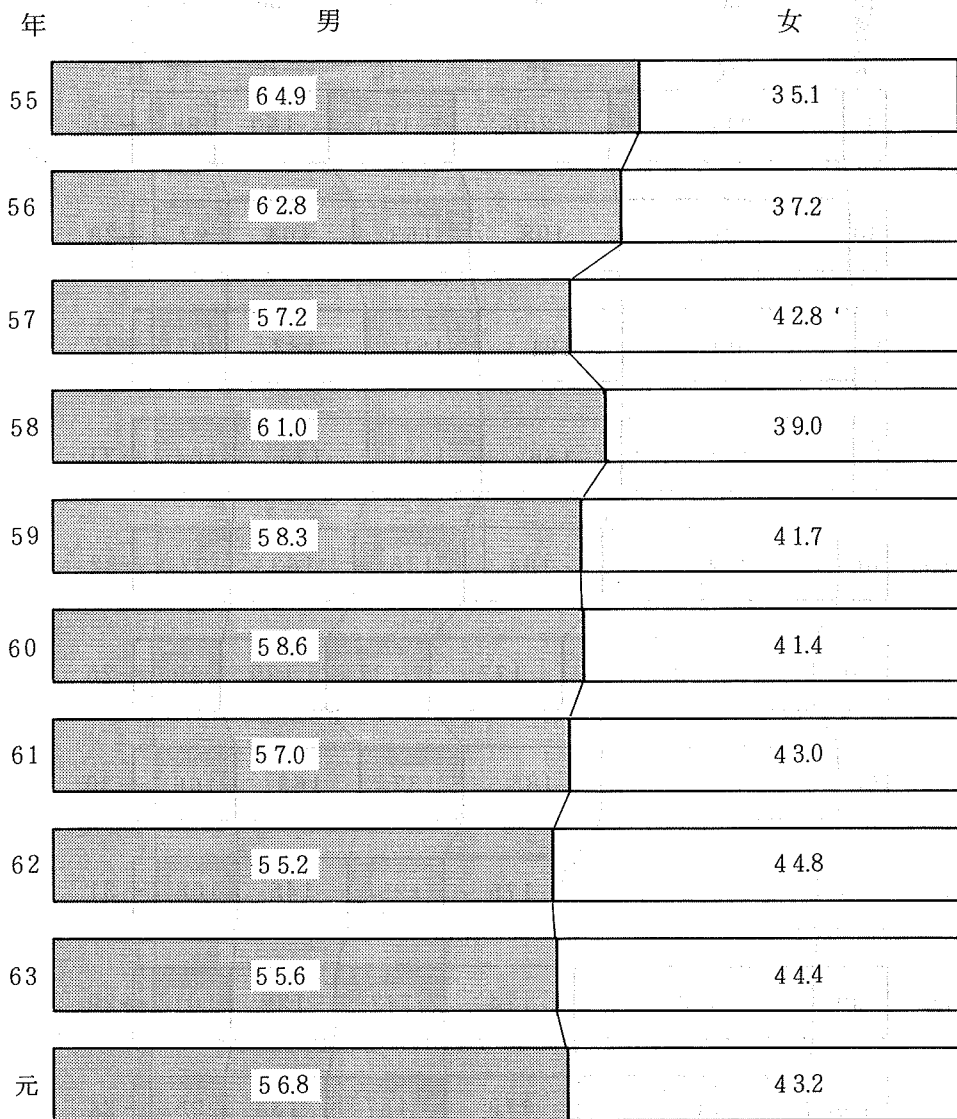
男女の比率は、この数年ほぼ6：4の割合です。

7. 年代別発給件数

年代別	62年		63年		元年	
	件数	%	件数	%	件数	%
0～19	1,925	9.3	2,503	9.9	2,783	10.6
20～29	6,699	32.2	8,039	31.6	7,919	30.3
30～39	3,640	17.5	4,421	17.4	4,685	17.9
40～49	2,626	12.6	3,632	14.3	4,120	15.7
50～59	3,018	14.5	3,507	13.8	3,482	13.3
60～69	2,254	10.8	2,559	10.1	2,551	9.8
70～79	588	3.1	693	2.9	589	2.4
80歳以上	49		47		42	
計	20,799	100	25,401	100	26,171	100

20代が全体の3割強を占め最も多く、未成年者も年毎に増える傾向にあります。

性別発給割合の推移

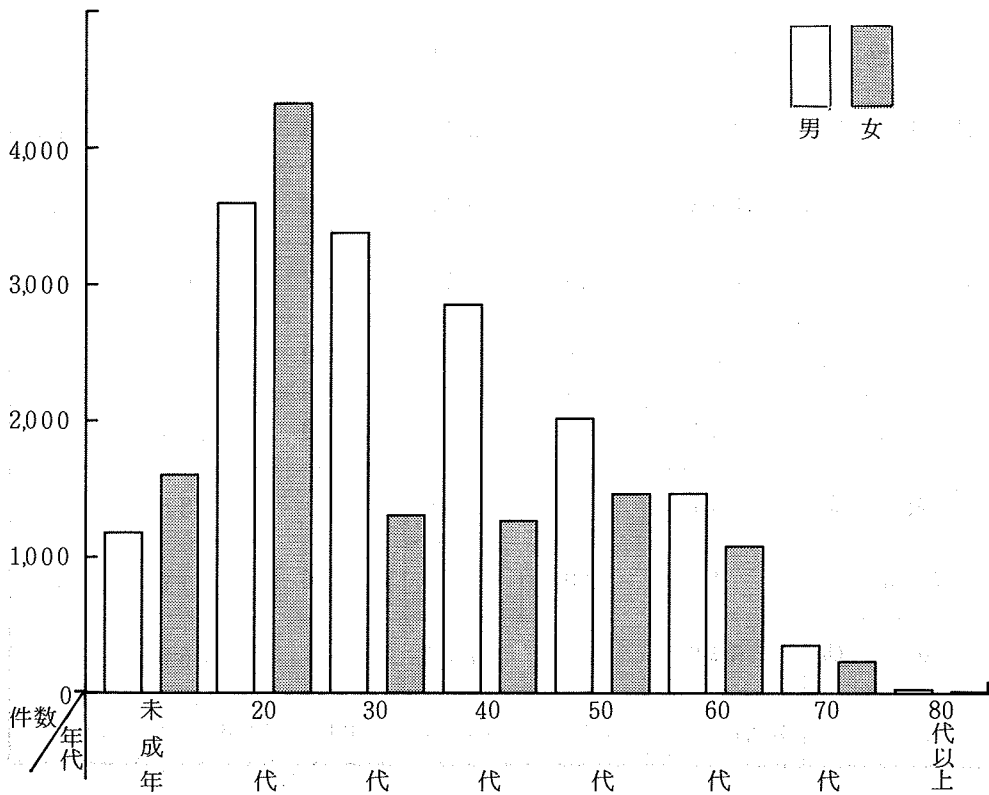


年代別発給割合の推移

	19 歳 以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上
55	5.7	31.1	20.6	16.6	15.0	8.4	2.6
56	5.0	30.5	19.8	15.3	16.4	9.7	2.8
57	4.2	30.9	19.1	15.1	18.3	9.7	2.7
58	4.5	30.8	18.6	15.2	17.4	10.4	3.1
59	6.6	31.2	18.4	14.6	16.3	9.7	3.2
60	9.8	33.3	17.7	13.7	13.9	9.0	2.6
61	6.6	31.3	18.5	13.7	16.3	10.6	3.0
62	9.3	32.2	17.5	12.6	14.5	10.8	3.1
63	9.9	31.6	17.4	14.3	13.8	10.1	2.9
元	10.6	30.3	17.9	15.7	13.3	9.8	2.4

年代別性別発給件数（元年）

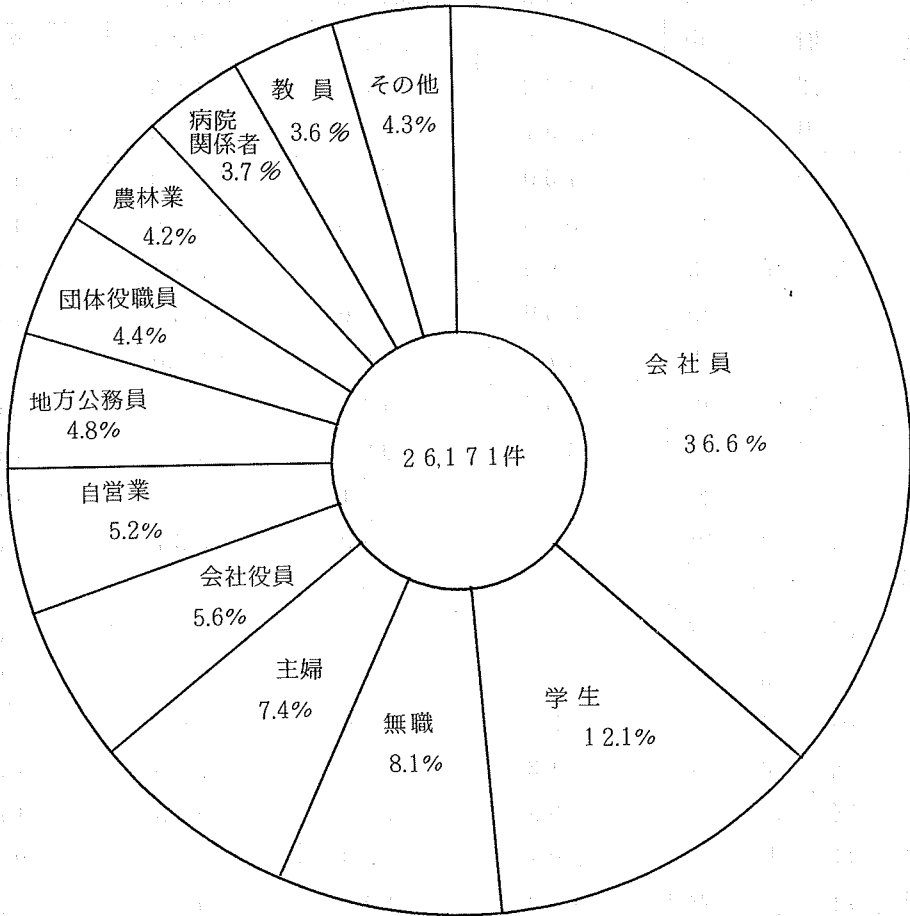
年代別	性別		男		女	
	件数	%	件数	%	件数	%
0 ~ 19	1,179	4.5	1,604	6.1		
20 ~ 29	3,596	13.7	4,323	16.5		
30 ~ 39	3,379	12.9	1,306	5.0		
40 ~ 49	2,851	10.9	1,269	4.9		
50 ~ 59	2,017	7.7	1,465	5.6		
60 ~ 69	1,468	5.6	1,083	4.1		
70 ~ 79	353	1.4	236	0.9		
80歳以上	28	0.1	14	0.1		
計	14,871	56.8	11,300	43.2		



8. 職業別発給件数

職業別	62年		63年		元年	
	件数	%	件数	%	件数	%
会社員	6,960	33.5	8,884	35.0	9,572	36.6
無職	2,572	12.4	2,515	9.9	2,117	8.1
自営業	1,206	5.8	1,361	5.3	1,363	5.2
会社役員	1,270	6.1	1,524	6.0	1,458	5.6
学生	1,848	8.9	2,894	11.4	3,179	12.1
農林業	870	4.2	1,012	4.0	1,112	4.2
主婦	1,277	6.1	1,926	7.6	1,945	7.4
地方公務員	992	4.7	1,149	4.5	1,246	4.8
団体役職員	901	4.3	996	3.9	1,147	4.4
教員	1,193	5.7	980	3.9	945	3.6
病院関係者	782	3.8	943	3.7	961	3.7
船員	61	0.3	51	0.2	42	0.2
国家公務員	251	1.2	262	1.0	261	1.0
宗教家	57	3.0	59	3.6	38	3.1
地方議員	17		74		19	
その他	542		771		766	
計	20,799	100	25,401	100	26,171	100

職業別発給割合（平成元年）



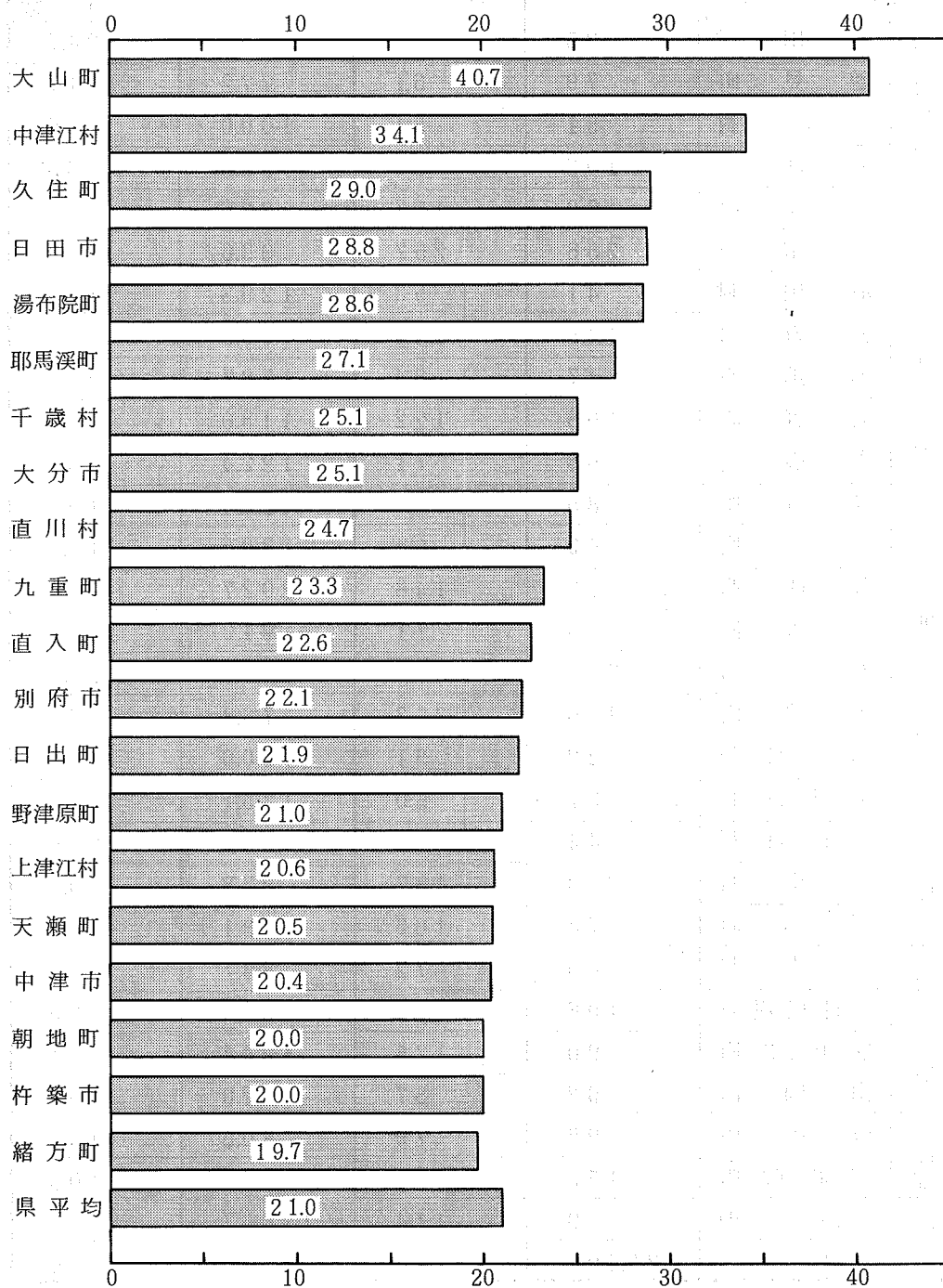
9. 居住地別発給件数

居住地別	年	63年 件数	元 年		
			件数	対前年比率 (%)	人口1,000人 当たり件数
大分市		9,743	10,106	103.7	25.1
別府市		3,402	2,929	86.1	22.1
中津市		1,143	1,356	118.6	20.4
日田市		1,487	1,885	126.8	28.8
佐伯市		760	775	102.0	14.5
臼杵市		545	575	105.5	14.7
津久見市		295	361	122.4	13.1
竹田市		336	346	103.0	16.5
豊後高田市		273	363	133.0	18.1
杵築市		432	440	101.9	20.0
宇佐市		877	984	112.2	19.1
西国東郡	大田村	39	41	105.1	19.2
	真玉町	60	40	66.7	8.8
	香々地町	33	67	203.0	15.1
東国東郡	国見町	65	71	109.2	10.4
	姫島村	14	12	85.7	3.7
	国東町	296	205	69.3	12.9
	武蔵町	113	90	79.6	15.4
	安岐町	138	144	104.3	14.3
速見郡	日出町	597	506	84.8	21.9
	山香町	130	132	101.5	13.0
大分郡	野津原町	90	124	137.8	21.0
	挾間町	246	254	103.3	19.1
	庄内町	182	188	103.3	17.8
	湯布院町	322	343	106.5	28.6
北海郡	佐賀関町	247	244	98.8	14.9
南海郡	上浦町	59	39	66.1	11.9
	弥生町	141	88	62.4	12.1
	本匠村	39	37	94.9	15.1
	宇目町	52	49	94.2	11.0

居住地別		年	63年 件数	元 年		
				件数	対前年比率 (%)	人口1,000人 当たり件数
南海部郡	直川村		35	86	245.7	24.7
	鶴見町		79	61	77.2	11.7
	米水津村		51	51	100.0	16.9
	蒲江町		102	87	85.3	8.1
大野郡	野津町		190	157	82.6	14.1
	三重町		258	257	99.6	14.0
	清川村		41	53	129.3	17.9
	緒方町		145	154	106.2	19.7
	朝地町		47	84	178.7	20.0
	大野町		108	122	113.0	18.0
	千歳村		58	71	122.4	25.1
	犬飼町		85	104	122.4	19.2
直入郡	荻町		49	64	130.6	15.7
	久住町		73	148	202.7	29.0
	直入町		78	71	91.0	22.6
玖珠郡	九重町		254	308	121.3	23.3
	玖珠町		466	353	75.8	16.5
日田郡	前津江村		22	31	140.9	16.5
	中津江村		37	50	135.1	34.1
	上津江村		44	30	68.2	20.6
	大山町		213	187	87.8	40.7
	天瀬町		174	162	93.1	20.5
下毛郡	三光村		86	72	83.7	13.1
	本耶馬溪町		108	88	81.5	18.6
	耶馬溪町		90	175	194.4	27.1
	山国町		92	57	62.0	13.6
宇佐郡	院内町		98	79	80.6	13.4
	安心院町		153	101	66.0	10.9
その他			9	114	1266.7	
計			25,401	26,171	103.0	21.0

※ 人口は、63.10.1推計

平成元年市町村別人口1,000人当たり件数
(上位20まで)



10. 渡航先別発給件数（主要一カ国）

国 別	年	62年		63年		元 年		
		件 数	件 数	%	対前比	件 数	%	対前比
ア シ ア 州	韓 国	3,900	5,198	20.5	133.3	6,488	24.8	124.8
	香 港	2,214	3,775	14.9	170.5	2,724	10.4	72.2
	台 湾	3,039	3,119	12.3	102.6	3,152	12.0	101.1
	フィリピン	81	127	0.5	156.8	145	0.5	114.2
	シンガポール	1,119	1,195	4.7	106.8	1,658	6.3	138.7
	中 国	1,612	1,826	7.2	113.3	542	2.1	29.7
	タ イ	464	344	1.3	74.1	485	1.9	141.0
	インドネシア	197	133	0.5	67.5	145	0.6	67.5
	イ ン ド	36	50	0.5	138.9	75	0.9	150.0
	そ の 他	114	93		81.6	155		166.7
	小 計	12,776	15,860	62.4	124.1	15,569	59.5	98.2

太 洋 州	オーストラリア	529	927	3.6	175.2	788	3.0	85.0
	そ の 他	303	324	1.3	106.9	456	1.8	140.7
	小 計	832	1,251	4.9	150.4	1,244	4.8	99.4

欧 州	フ ラ ン ス	533	676	2.7	126.8	671	2.6	99.3
	英 国	210	276	1.1	131.4	370	1.4	134.1
	西 ド イ ツ	143	151	0.6	105.6	233	0.9	154.3
	ス イ ス	40	45	1.4	112.5	76	1.5	168.9
	イ タ リ ア	89	96		107.9	89		92.7
	ギ リ シ ャ	51	20		39.2	18		90.0
	ソ 連	54	38		70.4	20		52.6
	そ の 他	137	167	121.9	201	120.4		
		小 計	1,257	1,469	5.8	116.9	1,678	6.4

年 国 別		62年		63年			元 年	
		件 数	件 数	%	対前比	件 数	%	対前比
米 州	米 国	5,672	6,519	25.7	114.9	7,357	28.1	112.9
	カ ナ ダ	113	149	0.6	131.9	173	0.7	116.1
	ブ ラ ジ ル	49	25	0.2	51.0	36	0.2	144.0
	そ の 他	32	30		93.8	30		100.0
	合 計	5,866	6,723	26.5	114.6	7,596	29.0	113.0

中 近 東 ・ ア フ リ カ	エ ジ プ ト	28	43	0.4	153.6	38	0.3	88.4
	イ ス ラ エ ル	18	18		100.0	14		77.8
	ア ル ジ ェ リ ア	1	1		100.0	0		0
	そ の 他	21	36		171.4	32		88.9
	小 計	68	98	0.4	144.1	84	0.3	85.7
合 計		20,799	25,401	100	122.1	26,171	100	103.0

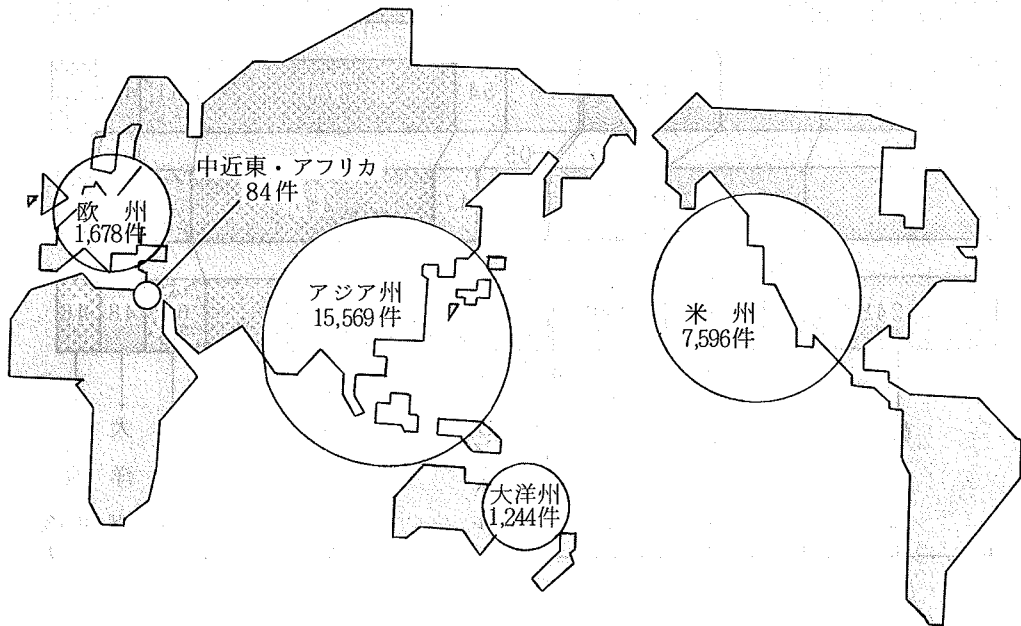
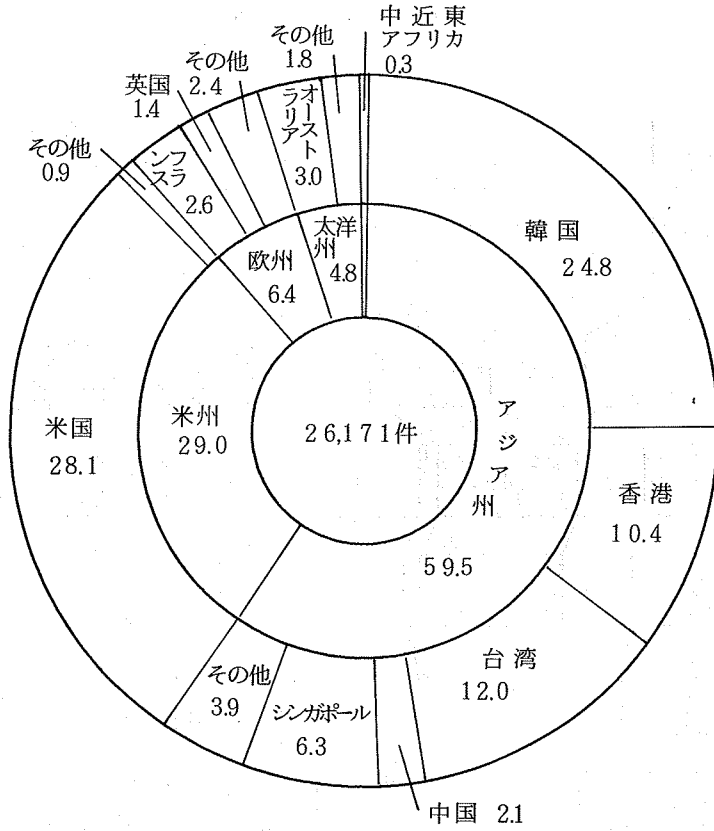
国別では米国が最も多く、ハワイ・グアム・本土西海岸は相変わらず若い女性に安定した人気があります。

韓国・香港・台湾は割安感から、修学旅行、社員旅行、買い物旅行等に安定した人気があります。

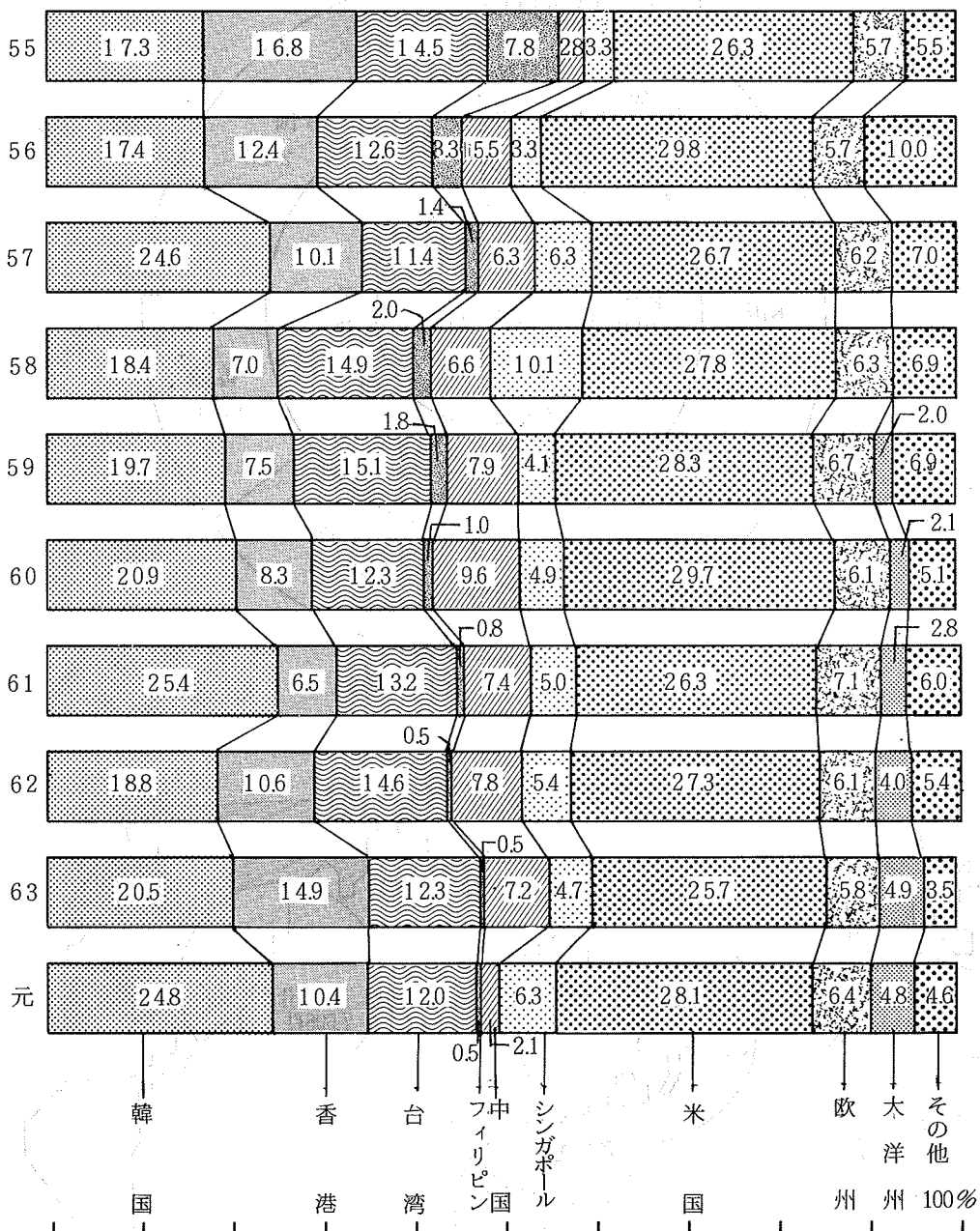
又、中国は6月の天安門事件後の渡航自粛の影響が極端に件数が減少しました。

渡航先別内訳（主要1ヶ国）

平成元年



渡航先国別発給割合の推移
 (主要渡航1ヶ国)



11. 日田窓口利用状況

昭和63年

月	日	受理	交付	計
1	13	95	53	148
	27	99	97	196
2	10	66	103	169
	24	85	62	147
3	9	110	84	194
	23	91	140	231
4	13	63	99	162
	27	46	74	120
5	11	44	66	110
	25	62	61	123
6	8	54	72	126
	22	84	74	158
7	13	83	97	180
	27	85	91	176
8	10	73	108	181
	24	47	78	125
9	14	67	57	124
	28	48	67	115
10	12	56	60	116
	26	60	80	140
11	9	97	61	158
	24	40	114	154
12	14	81	63	144
	28	122	101	223
計		1,758	1,962	3,720

1日当り
平均
155件

平成元年

月	日	受理	交付	計
1	11	38	42	80
	25	110	91	201
2	8	113	146	259
	22	83	155	238
3	8	89	100	189
	22	89	107	196
4	12	74	159	233
	26	74	107	181
5	10	68	107	175
	24	41	72	113
6	14	54	57	111
	28	51	69	120
7	12	34	56	90
	26	73	36	109
8	9	76	83	159
	23	74	77	151
9	13	91	117	208
	27	86	95	181
10	11	189	103	292
	25	104	205	309
11	8	63	107	170
	22	102	83	185
12	13	64	177	241
	27	16	80	96
計		1,856	2,431	4,287

1日当り
平均
179件

日田地域（日田市、日田郡、玖珠郡）の申請者の約7割の人が利用しており好評です。

12. 都道府県別発給件数

	平成元年			
	都道府県名	一般旅券発給数	対前年比 (%)	人口1000人 当たり件数
1	東 京	693,830	103.7	58.7
2	神 奈 川	381,879	107.2	51.4
3	大 阪	347,291	109.0	40.1
4	愛 知	251,861	110.6	39.0
5	埼 玉	245,641	111.8	41.9
6	千 葉	237,057	110.6	46.0
7	兵 庫	193,215	106.0	36.6
8	福 岡	153,320	110.0	32.5
9	静 岡	123,323	108.1	34.5
10	北 海 道	119,858	110.9	21.1
11	京 都	104,262	107.8	40.3
12	茨 城	83,304	110.3	30.6
13	広 島	79,820	106.4	28.3
14	長 野	75,385	107.3	35.3
15	岐 阜	71,245	110.6	35.1
16	群 馬	59,670	115.0	31.1
17	新 潟	58,403	113.2	23.6
18	栃 木	56,649	110.4	30.4
19	宮 城	55,374	115.7	25.4
20	奈 良	54,274	107.8	41.6
21	三 重	53,547	109.4	30.7
22	岡 山	47,035	106.1	24.5
23	熊 本	46,073	108.1	25.1
24	福 島	45,685	113.0	22.0
25	滋 賀	41,614	108.2	36.0
26	山 口	36,511	105.9	22.8

平成元年				
	都道府県名	一般旅券発給数	対前年比 (%)	人口1,000人 当たり件数
27	石 川	35,653	113.8	30.9
28	富 山	34,160	107.4	30.6
29	長 崎	33,210	112.9	20.8
30	山 形	32,230	119.5	25.5
31	鹿 児 島	29,646	101.2	16.3
32	山 梨	29,567	110.3	35.5
33	愛 媛	29,450	107.4	19.2
34	沖 縄	29,334	97.1	24.9
35	福 井	26,777	106.7	32.7
36	香 川	26,530	107.9	25.9
37	和 歌 山	26,444	107.0	24.3
38	大 分	26,171	103.0	20.9
39	岩 手	24,281	112.9	16.9
40	佐 賀	22,936	115.1	26.1
41	青 森	20,871	106.2	13.7
42	秋 田	20,029	115.0	16.0
43	宮 崎	19,749	106.8	16.8
44	徳 島	17,001	105.3	20.4
45	高 知	13,493	98.3	16.1
46	島 根	13,358	103.3	16.8
47	鳥 取	12,814	108.0	20.8
	外 務 省	1,953	104.8	
	合 計	4,241,783	108.2	35.0

(注) 外交・公用旅券は除く。人口は60.10.1国勢調査による。

件数の伸び率が全国平均より大幅に下回ったため順位も3ランク下がりました。

旅 券 年 表

昭和26年11月28日			旅券法制定（昭和26年12月1日施行）
38.	4.	1	義務渡航の自由化
39.	4.	1	観光渡航の自由化
45.	12.	1	数次旅券（5年間有効）の発給開始
47.	5.	15	沖縄復帰
47.	9.	29	中国と国交回復
48.			東ドイツ・北ヴェトナムと国交回復（現在未承認国は北朝鮮のみ）
50.	3.	1	旅券法施行規則改正による身元確認事務の厳格化
50.	4.	1	代理申請取扱の厳格化 旅券の変造防止対策として保護シート貼付の実施
52.	12.	19	ハイジャック防止のため、旅券法の一部改正により発給制限事由の範囲拡大、旅券法違反者罰則強化
53.	4.	1	外貨持出制限撤廃，日本円持出制限額300万円までとなる。
53.	5.	1	旅券手数料改定，約33%増 1回旅券 3,000円 → 4,000円 数次旅券 6,000円 → 8,000円
53.	8.	10	旅券冊子様式改正（紺色→濃赤色）
55.	2.	1	一般旅券発給申請書様式改正（規則改正）
57.	4.	1	渡航費用証明の一元化（規則改正）
57.	7.	23	身元確認書類の範囲拡大及び申請書出頭免除の取扱い緩和（法改正）
58.	5.	1	国家公務員の渡航承認書提出の廃止 臨調行政改革により頁数を削減した旅券冊子（40頁→24頁）の使用開始及び旅券法施行規則の一部改正
59.	5.		旅券業務専用コンピュータ稼動に伴う一般旅券発給申請書様式一部改正

昭和60年	1月	1日	国籍法，戸籍法改正による施行規則改正（氏名の非へボン式記載）
61.	1.	1	渡航費用の支払能力を立証する書類の簡易化（旅券事務要領の一部改正）
61.	1.	1	一般旅券発給申請書様式一部改正
61.	6.		旅券冊子署名欄の変更（2段→1段）
62.	4.	1	申請者出頭免除の取扱い緩和（旅行業者による代理申請）
62.	11.		身元確認書類の範囲拡大
63.	1.	1	数次旅券の有効期間内切替措置の緩和（6ヶ月→1年）
元	6.	1	旅券手数料の分納化（国庫と都道府県収入）
〈本県関係〉			
50	1	20	旅券事務機械化
58.	10.	12	日田市での定期出張受理交付開始（毎月第2・第4水曜日）
59.	9.	18	旅券交付手数料納付のための収入印紙売りさばき所開設 (旅券窓口内)
元	6.	1	〃 大分県収入証紙売りさばき所開設 (〃)